

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和元年 6月27日	
愛知県知事 殿	東京都中央区日本橋二丁目5番1号 株式会社 JERA 代表取締役社長 小野田 聡 提出者 愛知県碧南市港南町二丁目8番2 株式会社 JERA 住 所 O&M本部 氏 名 碧南火力発電所長 石井 和哉 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0566-48-8561
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社JERA O&M本部 碧南火力発電所
事業場の所在地	愛知県碧南市港南町二丁目8番2
計画期間	平成31年 4月 1日～令和2年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	33：電気業
②事業の規模	送電端電力量 28,572,265 (MWh)
③従業員数	290人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

<O&M本部>

O&M計画部 設備運用管理ユニット

<碧南火力発電所>

所長 (産業廃棄物総括責任者)

技術部長 (産業廃棄物処理責任者)

業務課長

発電課長

発電課副長
(技術管理者)

電気課長

機械課長

環境設備課長

関係会社

発電所

発電所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
排出量	757,674.950 t	201,285.520 t	153,986.010 t

※その他の内訳は、添付資料のとおりである。

(これまでに実施した取組)

当発電所から発生する廃棄物は、石炭灰（ばいじん、燃え殻）が大半を占めており、発生量は発電所の発電利用率および石炭成分中の灰分量により大きく変動することから、排出抑制することは困難であるが、石炭灰の有価販売を促進し、産業廃棄物としての石炭灰の発生量削減を目指した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
排出量	862,000 t	107,000 t	137,130 t

※その他の内訳は、添付資料のとおりである。

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物（石炭灰）の発生量は、発電所の発電利用率および石炭成分中の灰分量により大きく変動することから、排出抑制することは困難であるが、石炭灰の有価販売を促進し、産業廃棄物としての石炭灰の発生量削減を目指す。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

分別が困難な廃棄物の排出はなく、すべての廃棄物について、種類ごとに分別した。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

令和元年度も引き続き、すべての廃棄物について分別が出来るよう取り組む。当社にて分別ができない混合廃棄物が発生した場合は、全量を選別および再利用可能な処理業者に委託する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水無機性汚泥)	汚泥 (排水有機性汚泥)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	80,438.070 t	4,146.560 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水無機性汚泥)	汚泥 (排水有機性汚泥)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	69,300 t	4,507 t
	(今後実施する予定の取組)		
	令和元年度も引き続き、自社で86%程度の減量を目指す。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	36,432.800 t	135,226.180 t	43,950.580 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 （これまでに実施した取組） 発生した石炭灰（ばいじん、燃え殻）は、有価販売、再生利用（セメント原料）を行い、残りを自社構内および処理委託で最終処分している。 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の有価販売の促進およびセメント原料としての利用促進により、最終処分量の削減を目指した。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	33,100 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 （今後実施する予定の取組） 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の、有価販売およびセメント原料としての利用を促進し、最終処分量を削減する。 その他廃棄物は、再生利用できる委託先との契約を推進する。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	全 処 理 委 託 量	721,242.150 t	66,059.340 t	25,450.800 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	81,177.800 t	31,714.540 t	25,432.290 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	721,200.350 t	60,997.200 t	2,798.900 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	217.340 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	360.570 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 （これまでに実施した取組） 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の有価販売およびセメント原料としての利用促進により、産業廃棄物としての石炭灰の量を削減した。 その他廃棄物は、再生利用できる委託先との契約を推進した。			

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	全 処 理 委 託 量	862,000 t	107,000 t	34,484 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	118,150 t	24,000 t	30,492 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	862,000 t	83,000 t	4,343 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	182 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	301 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (今後実施する予定の取組) 令和元年度も引き続き、再生利用できる委託先との契約を推進する。			
※事務処理欄				

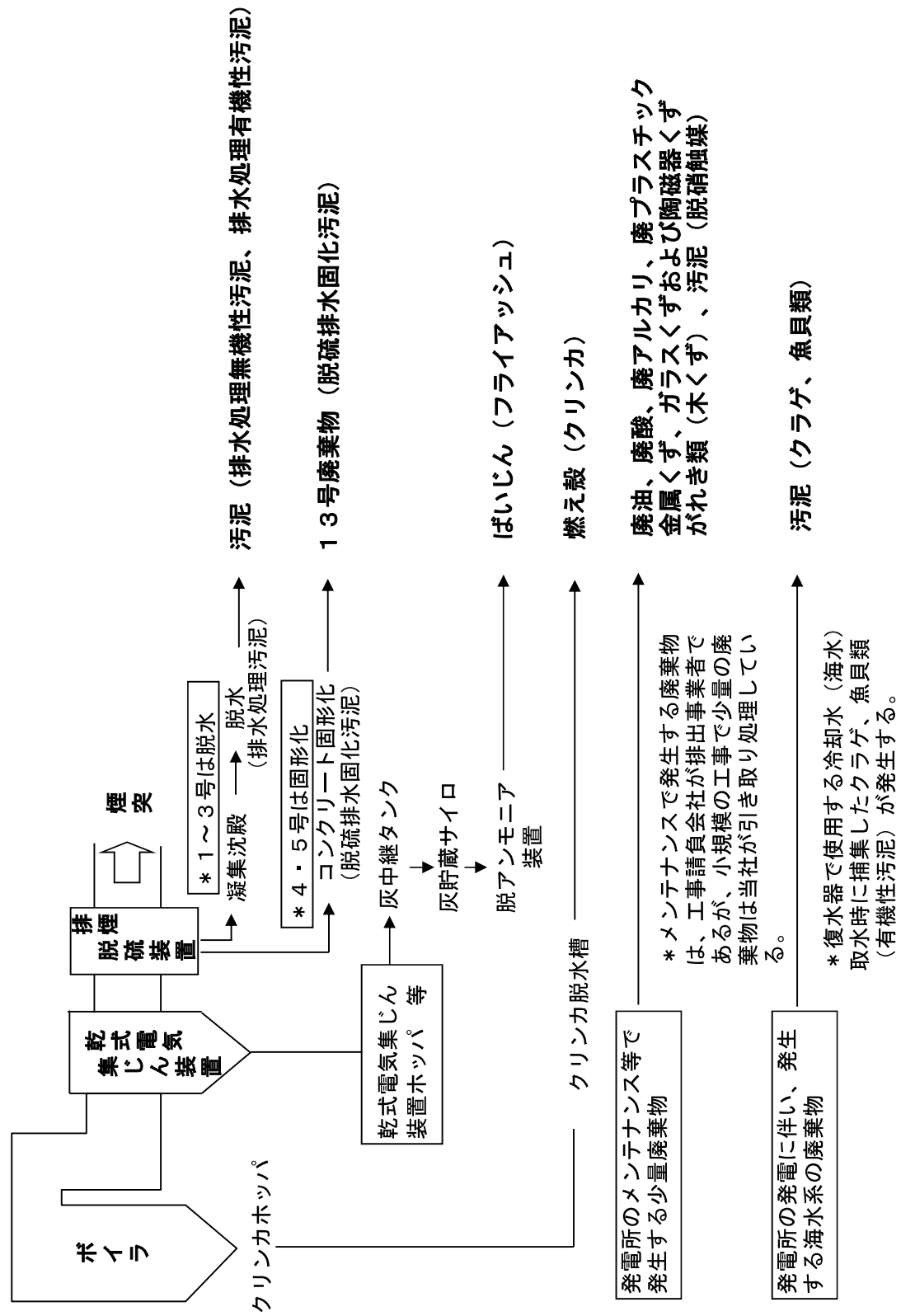
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

碧南火力発電所 産業廃棄物発生フロー図

別紙



○産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

平成30年度実績 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	101,945.160
汚泥(排水有機性汚泥)	4,507.130
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	47,223.980
金属くず(撤去機材等)	31.630
廃油(潤滑油等)	75.550
汚泥(魚貝類)	105.500
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	6.050
ガラスくず(蛍光灯等)	2.640
汚泥(培養土)	45.170
木くず(廃木材)	43.200
合 計	153,986.010

令和元年度計画 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	83,500
汚泥(排水有機性汚泥)	4,507
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	48,900
金属くず(撤去機材等)	32
廃油(潤滑油等)	76
汚泥(魚貝類)	106
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	6
ガラスくず(蛍光灯等)	3
汚泥(培養土)	0
木くず(廃木材)	0
合 計	137,130

○自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

平成30年度実績 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	19,297.330
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	24,653.250
合 計	43,950.580

令和元年度計画 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	14,200
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	18,900
合 計	33,100

○産業廃棄物の処理の委託に関する事項

平成30年度実績 その他の処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	2,209.760
汚泥(排水有機性汚泥)	360.570
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	22,570.730
金属くず(撤去機材等)	31.630
廃油(潤滑油等)	75.550
汚泥(魚貝類)	105.500
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	6.050
ガラスくず(蛍光灯等)	2.640
汚泥(培養土)	45.170
木くず(廃木材)	43.200
合 計	25,450.800

令和元年度計画 その他の処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	3,900
汚泥(排水有機性汚泥)	361
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	30,000
金属くず(撤去機材等)	32
廃油(潤滑油等)	76
汚泥(魚貝類)	106
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	6
ガラスくず(蛍光灯等)	3
汚泥(培養土)	0
木くず(廃木材)	0
合 計	34,484

平成30年度実績 その他の優良認定処理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	2,209.760
汚泥(排水有機性汚泥)	360.570
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	22,570.730
金属くず(撤去機材等)	23.730
廃油(潤滑油等)	75.550
汚泥(魚貝類)	94.890
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	6.050
ガラスくず(蛍光灯等)	2.640
汚泥(培養土)	45.170
木くず(廃木材)	43.200
合 計	25,432.290

令和元年度計画 その他の優良認定処理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	3,900
汚泥(排水有機性汚泥)	301
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	30,000
金属くず(撤去機材等)	0
廃油(潤滑油等)	76
汚泥(魚貝類)	106
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	6
ガラスくず(蛍光灯等)	3
汚泥(培養土)	0
木くず(廃木材)	0
合 計	34,392

平成30年度実績 その他の再生利用理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	2,209.760
汚泥(排水有機性汚泥)	360.570
金属くず(撤去機材等)	31.630
廃油(潤滑油等)	0.430
汚泥(魚貝類)	105.500
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	0.000
ガラスくず(蛍光灯等)	2.640
汚泥(培養土)	45.170
木くず(廃木材)	43.200
合 計	2,798.900

令和元年度計画 その他の再生利用理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	3,900
汚泥(排水有機性汚泥)	301
金属くず(撤去機材等)	32
廃油(潤滑油等)	1
汚泥(魚貝類)	106
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	0
ガラスくず(蛍光灯等)	3
汚泥(培養土)	0
木くず(廃木材)	0
合 計	4,343

平成30年度実績 認定熱回収業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
廃油(潤滑油等)	75.120
汚泥(魚貝類)	94.890
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	2.160
汚泥(培養土)	45.170
合 計	217.340

令和元年度計画 認定熱回収業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
廃油(潤滑油等)	75
汚泥(魚貝類)	106
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	1
汚泥(培養土)	0
合 計	182

平成30年度実績 その他の認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水有機性汚泥)	360.570
合 計	360.570

令和元年度計画 その他の認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水有機性汚泥)	301
合 計	301

以 上